



ICT 海外ボランティア会会報 第 105 号

2022 年 9 月 26 日（月）

URL: <https://ictov.jimdo.com>

EML: info.ictov@network.email.ne.jp

目次

◆特別寄稿

[ウイルスの話](#)

[当会顧問](#) [鈴木 武人](#)

◆特別寄稿

[岩槻日記\(20\)](#)

[当会特別顧問](#) [石井 孝](#)

◆JICA の動き

[JICA 海外協力隊 2022 年秋募集](#)

[事務局](#)

◆国際交流基金の動き

[日本語パートナーズ派遣事業の募集](#)

[事務局](#)

◆海外グラフィティ

[古地図蒐集の楽しみ](#)

[日本ベンダーネット社長 エッセイスト](#) [田上 智](#)

◆海外便り

[スペインバスク地方・フランス南西部俳柳紀行\(最終回\)](#)

[元 JICA シニア海外ボランティア](#) [北垣 勝之](#)

◆第 15 回 ICT 海外情報ウェブサロン模様

[事務局](#)

ウイルスの話

当会顧問
鈴木 武人

ここ数年、コロナによって仕事や生活まで、すっかり変えられてしまいました。

この会の集まりも、リモートになって久しく、我々も案外これに慣れてしまったといっても良いでしょう。



我々のような高齢者は特に気付けなければならないとされ、7月にはワクチン接種4回目を終えましたが、どうもその効力は5ヵ月から6ヶ月らしく、これからも年2～3回くらい受けなくてはならないようです。副反応のある方は、薬を用意、安静に努める等の対策にも努めなければなりません。コロナの特徴はウイルスがどんどん変異することです。傾向としては、伝染性が増加して感染者が激増、ただ死者や重傷者がその割に少ない、すなわち病原性が少なくなっている話と、今までのワクチンが効かなくなってきたとの話も聞きます。抗コロナウイルス薬品も出てきています。ウイルスには抗生物質は効かないというのは常識になっていますが、それどころか予防の為とかでむやみに使用すると耐性菌を作ってしまう事になるそうです。コロナウイルスはタンパク質からなる複数の突起（スパイク）を持っており、そのタンパク質が結合する相手、すなわちこの場合は人間の細胞を選んで、結果的にその細胞に取り込まれ、その細胞のメカニズムを利用してウイルスを増殖し、周辺の細胞へと完成したウイルスを再感染させ爆発的に増殖するのだとされています。当初いきなり強度の肺炎を起こしたのですが、最近では鼻や喉に炎症を起こす様になってきています。これはスパイクのタンパク質が鼻や喉の細胞に取り付きやすくなったと言う事かも知れません。その分感染はしやすくなり、その代わり肺炎の頻度は下がり、軽症で済むようになりつつあると見る向きもあるようです。

ウイルス恐るべしですね。

そこでウイルスについて調べてみましょう。

10年程前のものですが、山内一也氏の著作『ウイルスと地球生命』が大変面白いと思いました。ウイルスの専門研究者で、人間も受精から胎児の生育にウイルスが重要な役割を果たしているとの説を唱えておられました。

	季節性インフル 17年9月～ 20年8月	新型コロナウイルス			
		オミクロン 22年4月1日～ 6月30日	デルタ 死亡と入院が 21年7月1日～ 9月30日、 重症が21年8月	アルファ 死亡と入院が 21年4月1日～ 6月30日、 重症が21年5月	従来 死亡と入院が 20年11月15日～ 21年2月15日、 重症が21年1月
死亡率	0.09	0.08	0.32	0.89	2.21
重症化率 <small>(ICU/人工呼吸器)</small>	0.08	0.01	0.63	1.45	1.47
中等症率 <small>検案投与以上</small>	0.51	0.35	—	—	—
入院率	1.62	1.96	13.80	25.67	35.25

過去に遺跡が見つかるのにその民族が地球上から消えたとの話は沢山ありますが、有史上で最も有名なのはスペイン4風邪でしょう。1918年から1920年にかけて世界的に流行しました。発生はアメリカという説が有力とされていますが、丁度第一次世界大戦の時、米国兵がスペインに持ち込み、そこから世界中に大流行したのでスペイン風邪と呼ばれるようになったのだそうです。インフルエンザの一種だが、世界人口の30%ともいわれる膨大な感染者と、約4000万人の死者を出したとされています。なぜ、スペイン風邪が治まったかには諸説あるようですが、あまりにも毒性が強かった為に感染者は死に絶え、結果的に感染が阻止されたという説もありました。

ウイルスには様々な種類があるそうです。

ヒトやブタ、ネコ（猫の AIDS は有名ですね）などの動物にはそれぞれの種だけに感染するコロナウイルスが存在し、現段階ではヒトに感染するコロナウイルスはこれまで 6 種類が見つかったそうです。以前から普通の風邪を引き起こすコロナウイルスが 4 種類知られていたが、小生がフィリピンに居た頃に SARS（重症急性呼吸器症候群）というコロナウイルスが流行し、とても恐れられました。ガスマスクの様な米国製のマスクが送られてきたり、マニラ空港でも到着時に検温やら殺菌機能を持ったマットの上を歩く等が義務化されて感染を防いでいました。（不思議に日本の空港ではこのような対処は全く無かった）。また 2012 年には MERS（中東呼吸器症候群）が一部で流行しました。いずれも致死率の高い病気で、その後、これらのコロナウイルスについての研究が進められてきました。

ウイルスには沢山の種類があります。コロナウイルス、インフルエンザウイルス、ノロウイルスなど、よく聞く名前ですが、これらは大きくその構造から 2 通りに分類されるそうです。

エンベロープタイプのウイルスには、コロナウイルス、インフルエンザウイルス、ヘルペスウイルス、風疹ウイルスが含まれます。

非エンベロープタイプのウイルスには、ノロウイルスやロタウイルスが含まれます。

これら 2 種類の大きな違いは、その構造にあります。エンベロープタイプは、外側にエンベロープと呼ばれる主に脂質からなる膜があります。この油脂膜が、エタノールや界面活性剤などと作用するので、膜を壊すことが容易の出来ませぬ。コロナ対策でアルコールが有効なのはこれが理由となります。

一方で、非エンベロープタイプは強固なタンパク質の殻に囲まれているため、外からの影響を受けにくく、消毒剤などが一般的に効きにくい傾向にあります。

ところで、コロナウイルスの仲間は共通して、複雑な侵入と増殖のメカニズムを持っています。これらのウイルスは通常、油脂表面から突き出たタンパク質のスパイク（突起）が、宿主の細胞表面にある特定のタンパク質に結合することによって侵入します。

このスパイクに謂わば蓋をして感染を防ぐのが現在のワクチンと理解しています。

多くの病の原因として認知されるウイルスですが、TV の解説で、ウイルスは我々人間も含めて原始動物からの進化を担って来たとの話がありました。どこでどのように進化を担ったかまでは聞けませんでした。どなたか教えてください。

これも TV からの情報ですが、ウイルスを用いた癌の治療で実績を上げているという研究が直ぐ拙宅近くの東京大学医科学研究所で行われているそうです。

ウイルス療法とは、遺伝子工学技術によってウイルスゲノムを「設計」し、がん細胞でよく増殖しても正常細胞では全く増えないウイルスを作成し、これを臨床に応用するそうです。適用したのは悪性脳腫瘍の内の膠芽腫（グリオブラストーマ）だそうです。これは最も頻度が高く、さらに予後も悪い悪性度 4 の神経膠腫です。現在までの治療法では手術をしてから放射線治療と化学療法を行っても、平均余命は診断から 18 カ月、5 年生存率は 10% 程度とされます。これがウイルス療法によって全快に至ったというのです。

この実績からこの研究を幅広く活用するよう全国的に広まりつつあるそうです。

医学的には現在までの汎用適用の医学から、個人・個体へ特化した医療への革新かも知れませぬ。

今はコロナを殲滅出来ないの仕方なく With Corona の生活をと言い始めていますが、将来は “By Virus” になるかも知れませぬね？

岩槻日記(20)

当会特別顧問 石井 孝



「八十七年」

今年の12月に87歳(米寿)になるということで、電電のOB会から記念品を頂戴致しました。まことにありがたいことです。

よくぞここまで生き延びたものと我ながら感心する次第であります。

戦争中から戦後にかけてあの惨憺たる食糧事情の中で栄養失調寸前、もしくはそれに陥っていたかもしれないのに。

また、学校生活と申せば、新たに取り入れられた六三制というシステムが定着しない中の新制中学でした。

一例をあげますと、英語は「Jack and Betty」という教科書でしたが、一年生で教科書の半分も消化出来ないのに、二年生になると二年生の教科書を初めから始めるといった乱暴なやり方でした。

何とか学業を終え、電電公社に就職することが出来ました。

当時、申し込んでも付かない電話が山積みになって居り、これを解消した上で、全国に亘って交換手を介さない自動的に接続する仕事に大わらわでした。

仕事にも職場にも恵まれたサラリーマン生活であったと思っております。

ただ、定年を迎え電々生活おさらばという時に聞こえた陰口「アイツは何かやったと思っているらしいが、やったのは名刺の肩書きだ」には参りました。

これは、何とか自分の力というものをチェックしておかなければならないと考えておりました所、ワイフがJICAのシニアボランティアに関する新聞記事を見付けてきて、やってみたらと言うではありませんか。

この仕事であれば「名刺の肩書き」とは全く無縁です。早速応募(受験)シタイの高専で若者たちへのIT教育システムの開発と実践に奮戦したのです。

これに関しては、2000年度のJICAシニアボランティアの代表として天皇皇后両陛下に報告する栄を賜りました。

これで満足したと云うわけではありませんが、正直に言って「まあまあかな」と思ったことは事実です。

それから家庭生活の方ですが、結婚してから60年にもなります。

生まれてから87年、家庭を持ってから60年と云う年月の中で、いうに言われぬ色々な過度現象を経験致しました。

これらを乗り越えられたのは、ワイフをはじめとする家族の協力によるものと感謝しております。

下らない話が長くなりました。大変失礼いたしました。

「大規模通信異常障害」

昨夜(9月24日)、ICT海外ボランティア会(ICTOV)が実施した「大規模通信障害を振り返ってみたら」と云うテーマでのウェブ・ミーティングの感想である。

現役を離れ、不勉強になっているので誤解等も多いと思う、忌憚ないご指摘等頂戴できれば幸いである。

現代社会における通信システムは電気、ガス、水道につぐ必要不可欠なモノである。従って通信業者は自己のシステムの運用に万全を期するべきである。

以下、気が付いた点について列挙する。

1. 先ず、現在の主流であるインターネット網（パケット交換網）の設計である。

従来の電話のような回線交換ネットワークでは其処を流通するトラフィックがアーランと云う単位で定義され、輻輳に関する問題が数学的に整理されていた（測度は呼損率）。

このため、ネットワークの設計は極めて理論的且つ合理的に行われ、ネットワークの運営と保守もシステマティックに実施されていた。

これに対して現行のインターネット（パケット交換網）に於いては、呼量はパケット数やパケットの大きさなどで計るのであるだろうが、伝送路の帯域との関連において輻輳状況などを数学的に把握・整理されているのであろうか。

ネットワークの設計（回線設定など）はどのような論拠・手法に基づいてに行われているのであろうか。

そして、輻輳状態の解消には、ネットワークの耐力以上の負荷はカットせざるを得ない。従来の電話網における発信規制のような機能は何れのネットワークに於いても必須である。

2. 次はネットワーク運用面である。

此处で思い起こすことは、37年前、NTT初代社長真藤さんのご指導である。氏は、電子交換機ソフトをはじめとする電話交換網に関わる全てのソフトウェアシステムを内製化し、ネットワークの設計から維持管理に至る運営を全て自前で行うよう厳命された。これが完成した後、私の在任中、ネットワークに関する異常障害は皆無であった。

昨今、シャープなど色々な会社がソフトウェア開発要員を大幅に増やして自社のDXにかかわるソフトウェア開発の内製化に取り組んでいると報道されている。

通信業会も下請け・外注任せでの体質から脱皮し、真藤さんやシャープなどのやり方に脱皮することが「大規模通信異常障害」を回避し、事業の健全化を図る基本的な道筋ではなかろうか。

些か振りかぶった言い方になるが、これからの時代の事業経営において事業自体を司るソフトウェアシステムを事業者自身が内製化し、管理する。これこそがDXの基軸なのではないか。

3. 蛇足であるが、車にあたるのがパケットで、高速道路にあたるのが広帯域伝送路と考えると、インターネット（パケット通信網）の輻輳は高速道路の渋滞に類似しているような気がする。先ず遅延が起こり、さらに進むとスタック（遅延時間が無限大）する。高速道路の渋滞理論をインターネット網の輻輳問題に応用できないものであろうかなどと素人は思ってしまうのである。

『ソフトウェアは生命線 利用者が内製し管理せよ』

漸くここまで来たか。以下は、今から約40年前、昭和60年当時の話です。

「事業の根幹である電子交換機が故障した時、自分達の手で直せないのはおかしい。交換機用のソフトウェアの開発をコンピューターメーカーに丸投げしているからだ。石井君、どうだ。自分達で直せるように、ソフトウェアを内製してみないか」

日本電信電話公社（当時）の真藤恒総裁は私を呼びつけるや否や、こうまくし立てました。1985年4月に公社が民営化される直前の出来事でしたが、コンピューターや交換機を動かすソフトウェアの重要性を熱く語った真藤氏の姿を今でも鮮明に覚えています。NTTの誕生と同時に、内製化を手がける「中央ソフトウェアセンタ」が新設され、私は所長に任命されました。

折に触れ、真藤氏とソフトウェアについて話し合ったので、その真意を知ることがで

きました。よく聞いてみると、交換機の修理うんぬんはきっかけに過ぎず、真意は「これから社会のあらゆるところにコンピューターが浸透し、社会そのものが“ソフトウェアオリエンテッド”になる。その時に備え、高品質で高い信頼性を持つソフトウェアを開発する力を NTT の中に蓄えておきたい」ということだったのです。

ソフトウェアの内製化は取り組んでみると大変な難業でしたが、真藤氏の後押しもあって、丸 5 年後には交換機ソフトウェアを自力で開発し、直していける体制を築きました。悪戦苦闘を通じて体感したのは、「ソフトウェアは成長を続ける生き物であり、その成長をきちんと管理しなければならない」ということです。

いったん開発を終え、ソフトウェアを使い始めると、次々に機能追加や修正作業が発生します。この作業を続けていくと便利になる一方で、ソフトウェアはいつの間にか増殖し、気がつくソフトウェアがすべてを支配してしまい、それなしでは仕事ができない状態になってしまう。従って、秩序ある成長ができるように管理することが肝要です。最初の開発は手始めに過ぎず、使い出してからが本番なのです。

二十数年経った今、真藤氏の言った通りになりました。ソフトウェアは社会の仕組みや企業のビジネスの至る所に入り込み、増殖しています。残念なことに、年金問題や証券取引所の不具合に象徴されるように、品質と信頼性の問題が表に出てきてしまいました。しかも、これは氷山の一角に過ぎません。多くの企業は、自社のビジネスを支配しているソフトウェアの開発や維持管理の仕事を外部に丸投げしており、自力で管理する力がありません。

この問題を解決するには、ソフトウェアを利用する組織や企業が内製できる力をつけるしかありません。その力を持ってこそ、たとえ開発を委託したとしても、外部企業の仕事ぶりを見極められるのです。内製化は難業です。真藤氏がソフトウェアに関心を持ち、現場を鼓舞してくれたように、経営トップが問題を認識し、ソフトウェアの維持・管理を担当する部門が意欲を持って継続的に取り組めるよう目配りすべきです。

ソフトウェアを恐れることはありません。ソフトウェアは 100% 人間の手で作る生産物ですから、それにまつわるすべての問題は人知の及ぶ範囲内にあります。だからこそ、担当者のモチベーションが重要なのです。「企業は人なり」と言われます。これをもじって言えば、「企業はソフトウェアなり、ソフトウェアは人なり」です。

JICA の動き

JICA 海外協力隊 2022 年秋募集

事務局

JICA 海外協力隊 2022 年秋募集の募集期間は、2022 年 11 月 1 日から 12 月 12 日正午までです。募集の詳細はまだ掲載されていませんが、応募プレエントリーが 2022 年 10 月 11 日(火)から開始されますので、ご関心のある方はその時期までに下記サイトをご覧ください。JICA 主催の説明会が通年で全国各地及び Web で多数開催されていますので、参加されることをお勧めいたします。

<https://www.jica.go.jp/volunteer/>

<https://www.jica.go.jp/volunteer/seminar/>

国際交流基金の動き

日本語パートナーズ派遣事業の募集

事務局

国際交流基金(JF)は、日本語パートナーズ派遣事業について10月12日～11月29日に募集を予定しています。海外と日本の架け橋になりたい方、(旅行や出張ではなく)海外での日常生活・協力活動をしてみたい方など、奮ってご応募いただければ幸いです。

<https://np.asiawa.jpf.go.jp/> <https://asiawa.jpf.go.jp/partners/apply/>

ベトナム	募集人数：10名	派遣期間：2023年8月～2023年12月
インドネシア	募集人数：20名	派遣期間：2023年9月～2023年12月
台湾	募集人数：10名	派遣期間：2023年9月～2023年12月
フィリピン	募集人数：10名	派遣期間：2023年9月～2023年12月

1. 趣旨

幅広い世代の人材をアジアの中等教育機関へ派遣し、現地の日本語教師と日本語学習者のパートナーとして、授業のアシスタントや会話の相手役といった活動をするとともに、教室内外での日本語・日本文化紹介活動等を行い、アジアの日本語教育を支援する。同時に、日本語パートナーズ自身も現地の言語や文化についての学びを深め、アジアと日本の架け橋となることを目的とする。

2. 活動内容

- (1) 現地の日本語教師が行う授業への協力
- (2) 授業の教材作成等への協力
- (3) 授業や課外活動における生徒との交流(日本語での会話、文化活動への協力等)
- (4) 派遣先の JF 海外拠点等が実施する日本語教育事業への協力
- (5) その他、現地の要望に応じて、地域における日本語学習支援、日本文化紹介を通じた交流活動等

3. 待遇

滞在費(月額10万円～14万円程度)、往復航空券(ディスカウントエコノミー)、旅費等の支給と住居が提供される。

4. 応募要件

- (1) 満20歳から満69歳で日本国籍を有する日本語母語話者の方
 - (2) 日常英会話ができる方(英語で最低限の意思疎通が図れる程度)
 - (3) 派遣前研修(約1か月間)に全日程参加できる方、等
- (注) 日本語を教えた経験がなくても良い。特技のある方、人生のキャリアを積んだ方、アジアとの交流に熱意を持った方の応募が期待されている。

古地図蒐集の楽しみ

日本ベンダーネット社長 エッセイスト 田上 智



最近、講演用の古地図を数種類手に入れた。はじめは、伊能忠敬より40年以上も前に日本全図を創始した長久保赤水のレプリカを入手したことから蒐集が始まった。教科書などでは、日本で最初に日本全図を完成させた人物として伊能忠敬があまりにも有名で、井上ひさしの「四千万歩の男」という小説でより身近な存在となった。ただ、伊能図は幕末、江戸幕府の図書館ともいべき紅葉山文庫に収められて一般の大衆の目には触れなかった。その伊能忠敬が大いに測量の助けとして常に携帯していたのが、長久保赤水の地図であった。吉田松

陰もこの地図は非常に便利だと述懐していたという。つまり、一般に流布していたのは、伊能図でなく長久保赤水の物だったのだ。ところで、これからが面白い、明治になって政府は伊能図を使って近代的な地図を完成させていったのだが、それでは、赤水図と伊能図の間は空白なのか？そこで調査して分かったのが、「官版全国実測図」の存在である。これは、伊能忠敬とその弟子である間宮林蔵の資料を基に、江戸幕府と明治政府が、樺太を含めた日本全図を完成発行していたことが判明した。地図は、やはり、実測が肝要で空想の物は近代的とは言い難いのだ。「つくば」の国土地理院・付属の売店にはあることが判明したが、何せ「つくば」は遠い。何とかならないか？

人類学では、人類と類人猿との間にミッシングリンクは存在しないことになっている。つまり、日本地図では、この「官版全国実測図」が赤水図と伊能図とを埋めるもので、おまけに樺太探検の間宮林蔵の物も加味されている。手に入れたのは、慶応三年幕府発行の北海道の物だが、一部樺太もその先端の方が覗いているしろものだ。北海道の南半分は忠敬、北は間宮林蔵の実測による。さて、遠い「つくば」でなく、近場でないものか？現代地図と古地図を扱っている新宿の紀伊国屋に相談すると、既に消滅した地図販売元の「人文社」のものがあつたはずだが今は在庫は無い。そのかわり、日本橋の「ぶよう堂」ならあるかもしれないという返事。電話すると、日本の中央部のものなら一部（全体は五部）だけあるとのこと。不満だが、モノを見てみようということで出かけた。そこで、手に入れたのが、店員がその後に見つけた北海道の物だった。

その店に行ってみると、なんと「洋モノ」もあって、プトレマイオスやオルテリウスの世界地図もあつた。アレキサンドリアの天文学者だったプトレマイオスは紀元150年に既に世界地図を完成させていたのだ。日本は弥生時代だ。なんという彼我の差か！このプトレマイオスの地図を頼りにコロンブスが西へ西へとインドを目指して航海したのだ。プトレマイオスの地図には当然だが、アメリカ大陸は存在しない。

ベルギー生まれのオルテリウスは、世界初の「近代的地図」を1570年に完成させた。これは、「世界の舞台」という名でつとに有名なものだ。当然ながら、ここには「南北アメリカ」も「日本地図」さえも載っている。今、コロンブス自身が記した「航海誌」を入手し、壮大なロマン小説を書きたいと思っている。(2020.11.17了)

スペインバスク地方・フランス南西部俳柳紀行(最終回)

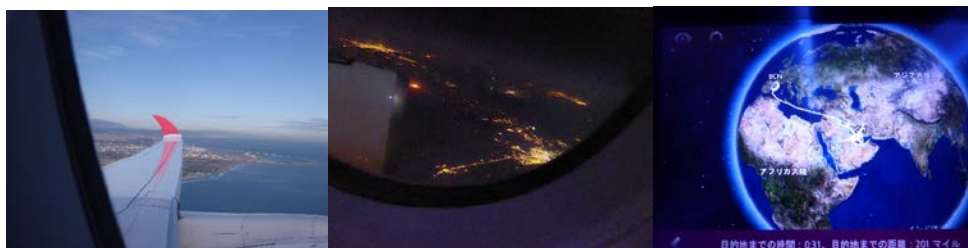
元 JICA シニアボランティア
北垣 勝之

暗闇にイラクの灯り点々と

しもじも 下々は秋霜烈日 上の空

わが旅は障害競走難避けて

季節外れの秋台風襲来、イラン対サウジアラビアやクルド人を巡るシリア・トルコ情勢の中東問題、スペイン国内の独立運動とデモ隊の暴徒化、常態化したフランス交通機関のストなど、わが旅の行く手には予見できない多くの障害が予想される。だが一旦旅程を決めると、これらの時限爆弾がいつ弾けるか戦々恐々である。何が起こってもいいように即応の次善策(contingency plan)を案じながらの旅である。それでも機上の人となれば、下界のイザコザなど糞喰らへ、あとは野となれ山となれ運を天に任すのみだ。帰りのフライトはバルセロナからチュニス、シチリア・マルタ島間を通り、クレタ島、キプロス島と地中海を縦断、レバノンから中東に入りシリア、イラクへとややこしい空域を飛ぶ。カタール航空と提携するマルタ航空機(AirBus350-900型)だからできることなのかな。丁度、イラクのバグダッド上空は夜間、意外にも下界は広範な街の灯りで明るい。国内の混乱など微塵も感じられない。最短距離飛行のお陰で6時間半にてドーハに着く。一息入れて2時間後には東京成田行きの便に搭乗、こちらもボーイングの最新鋭機、途中、中国上空のハザード地帯も加速で大した揺れもなく9時間にて無事の帰国と相成る。懸念されたトラブルもなく全く以って冥加の至りである。



我学ぶ欧州大地いざさらば

異文化の人また同じ旅心(機上モニター)

中東に安らぐ灯りいつまでも(イラク辺)

カタルーニャや独立 如何 ひと騒動

今や地球上、世界各地で紛争が絶えない。その一つにスペイン・カタルーニャ地方の独立運動がある。数年前、中央政府に抗しカタルーニャ自治州は独立を問う住民投票を主導してきたが、その時の同州副首相等は拘束され弾劾裁判に処されていた。その結果2019年10月14日彼等に対し有罪判決が言い渡され、首謀者は禁固13年の刑となった。これに反発した独立派は同10月18日数千人規模の抗議デモを行った。現州政府首相は直ちに正当性なきデモと非難し暴力を止めるよう呼びかける。しかしデモ隊はバルセロナのプラット国際空港にも押しかけ治安部隊と激しく衝突した。ために当日かなりのフライトが取り止めになる。観光をベースに経済活動が活発なスペインでは一番潤っている筈のカタルーニャ州であるが、独立志向が強く長年に亘って中央政府と抗争が続いている。一部の急進的暴徒によるデモ騒動は州都バルセロナの宿痾とも言える事件で、外

来観光客にとっては迷惑以外の何ものでもない。

老いらくの^{めおと}夫婦 旅行やちよぼちよぼと

飲み食いにリハビリ要す胃拡張
満月が迎える我が家無事帰宅

今回はどちらかと言うと軟弱なグルメ旅になったようだ。バスク地方にしても、フランス南西部にしても食道楽には垂涎の地、よだれを垂らしながら巡る。お陰でフォアグラダックのような胃拡張、同時に呑み助になって戻って来た。老い先短い爺婆だからこそ食欲に各地の名物珍味に挑戦する。その結果は帰国後日本でリハビリすればよい。まずは平生の粗食を以って減量に励むことだろう。出国から半月、丸々と肥えた満月が我々を迎えてくれた。これからお月さんもだんだんスリムになっていく筈だ。我等もまた月に見習おう。

あな楽し旅は世につれ人につれ

^{ぜんちゆうこうぎ}前中後戯 愛でるが如く旅三昧

旅行前の下調べ、旅本番の直接行動、そして帰国してからの反省とまとめ、これ等一連の取り組みが旅行であり、旅の醍醐味はこの前戯・本番・後戯を全うしてこそ味わうことができる。旅との戯れもいよいよフィナーレ、ボロが出ないうちに擱筆するとしよう。(完)

< 日程 >

10/29(Tue) NRT(QR807)22:20→翌 04:30DOH 機中泊

10/30(Wed) トーハで Stop Over、今回は 747 番バスではなくタクシーでホテルへ、チェックイン後、市内散策(イスラム美術館、スーク・ワキーフ etc.) トーハ泊(Al Najada Hotel By Tivoli)

10/31(Thu) タクシーで空港へ、空港ラウンジで朝食、DOH08:15→13:55MAD renfe 列車でチャマルティン駅へ、ホテル・チェックイン後市内散策(チャマルティン周辺&プラト美術館 etc.) マドリット泊(Hotel Weare Chamartin)

11/01(Fri) am.マドリット(チャマルティン)08:00→13:04 ビルバオ(アバント) pm.ホテル・チェックイン後市内散策(旧市街、etc.) ビルバオ泊(Hotel Merecure Bilbao Jardines de Albia)

11/02(Sat) am.ビルバオ散策(クッゲンハイム美術館、ビスカヤ橋、etc.)、pm.バスでサンセバスチャンへ(1時間)、ホテルチェックイン後、市内散策(晩飯はバルのピンチョス) サンセバスチャン泊(Hotel Arrizul Congress)

11/03(Sun) 終日サンセバスチャン市内散策(旧市街) サンセバスチャン泊(同上 Hotel Arrizul Congress)

11/04(Mon) サンセバスチャン(PESAバス)10:00→11:30 バイヨンヌ、ホテルチェックイン後市内散策(大聖堂、屋内市場、チョコレートショップ (Port Neuf 通り)etc.) バイヨンヌ泊(ibis Styles Bayonne Centre Gare)

11/05(Tue) am.市内散策後、バイヨンヌ 10:11→11:58 ボルトー(TGV)、ホテルチェックイン後、pm.市内散策(シティ・デュバン(ワイン博物館)等) ボルトー泊(ibis Bordeaux Centre Gare Saint Jean)

11/06(Wed) am.ボルトー市内散策(ワイン博物館、サンタントレ大聖堂、ベイ・ベルラン塔、etc.) ボルトー泊(ibis Bordeaux Centre Gare Saint Jean)

11/07(Thu) ホテル→9:05→11:11トゥールーズ、ホテルチェックイン、pm.市内散策(キャピトル、サン・セルナン・バジリカ聖堂、ウイクトル・エゴ市場、etc.) トゥールーズ泊(ibis Toulouse Gare Matabiau)

11/08(Fri) (往)トゥールーズ 8:53→9:37 カルカソンヌ、旧市街散策とシテ・コンク城見学、(復)カルカソンヌ 15:45→17:05 トゥールーズに戻り、市内散策 トゥールーズ泊(ibis Toulouse Gare Matabiau)

11/09(Sat) 朝の市場巡りの後 NOVATELバスでトゥールーズ・マタビエ駅(No.150バスストップ)10:30→14:45 アンドラ・ラ・ウイリャ(バリラ川近くバスターミナル)、ホテルチェックイン後市内散策(メルキエリ通り、ロトンダ等) アンドラ泊(Mercure Andorra Hotel)

11/10(Sun) バスでアンドラ 10:00→12:30 ハルセロナ・サンツ・バスターミナル、サンツ駅ホテルチェックイン後、市内散策(グエル公園、etc.) ハルセロナ泊(Barcelo Sants)

11/11(Mon) am.ハルセロナ市内散策(カタルニャ広場、etc.)、正午までにホテルチェックアウト、電車で空港へ、BCN15:25→23:45DOH、機中泊

11/12(Tue) DOH(QR896)02:05→17:45NRT

<費用>

総額：¥454,642(二人分)

内訳：航空賃：¥178,660、ホテル代：¥165,173、交通費：¥60,260、飲食費：¥34,638、

入場料：¥5,324、その他(土産・チップ等)：¥10,587

換算レート：¥121/€、¥109/US\$, ¥31/QAR(カタール・リアル)

ウェブサロンの話、あれこれ

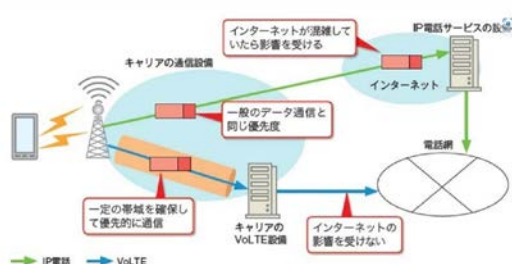
第15回 ICT 海外情報ウェブサロン模様

事務局

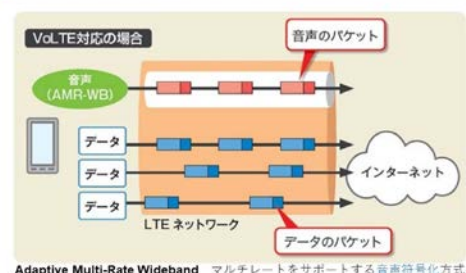
第15回 ICT 海外情報ウェブサロン(遠隔井戸端サロン)が2022年9月24日(土)19時～20時30分、ウェブ会議室において開催された。当会の安達幹事による「大規模通信障害を振り返って見たら」の約100ページにわたるプレゼンを題材にして、参加者からの活発な質疑・意見提起があった。主な話題を以下に示す。

- ・本年7月2日(土)午前1時に発生したKDDIの大規模通信障害は、音声データとして保存するVoLTEの交換機故障が原因で通信が輻輳したものである。
- ・スマートホンのiPhoneとAndroidで挙動の違いがあった。
- ・通信障害時に契約していた3655万人に一律200円(税別)を支払うなどの対応をした。
- ・本年7月の電気通信主任技術者試験でVoLTEに関する出題があった。

IP電話より品質が安定



データと音声を一緒にやり取り



- ・スマートホン利用者の障害時対策として、eSIM 契約が増加した。
- ・災害時や大規模障害時の通信会社間ローミングの議論が進行している。
- ・本年 2 月 7 日の NTT ドコモの通信障害は、IPv6 シングルスタック方式導入によるサーバー負荷増であった。
- ・ソフトバンクでも 2018 年 12 月、ソフトウェア不具合による通信障害が発生した。
- ・マイクロソフトの Teams 通信障害は世界各国で発生し多大な影響があった。
- ・台風による通信への影響もある。

eSIM (embedded Subscriber Identity Module) その4

あとからeSIMが埋め込まれた端末を操作し（QRコードの読み取り、専用アプリのインストールなど）、

「プロフィール」と呼ばれるデータのセットをダウンロードしてeSIMに書き込むことで、電話やインターネットなどの通信を利用できるようになっています。

eSIMが利用されるのは、実はスマートフォンにとどまりません。たとえば、スマートウォッチを代表とするウェアラブル端末は、eSIMが目されるようになったきっかけのひとつ。

9月6日 台風11号の影響

NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクは6日、台風11号の影響で九州・中国地方の一部地域で携帯電話のサービスが利用しづらくなっていると発表した。

KDDIは5日午後7時ごろから福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、鹿児島県、沖縄県の一部で通話やデータ通信が利用しづらくなっている。KDDIの回線を借りる楽天モバイルも影響が出ている。

ドコモは6日未明から長崎県、山口県、島根県の一部でサービスを利用しづらくなっている。伝送路の故障や停電が原因という。

ソフトバンクも6日午前5時ごろから長崎県で影響が出ている。

- ・古い話として、世田谷電話局ケーブル火災があった。1984年11月16日(金)11時50分頃、洞道内で工事中の電話ケーブルから出火した。対策として、難燃ケーブルの採用などがあった。

これに関連して、世田谷電話局の勤務経験がある山川(当会事務局長)から最近の世田谷ビルの紹介があった。また、当時、難燃ケーブルの技術開発をしていた田中様から、開発状況の動画紹介があった。

NTT世田谷の今と昔



2008年当時 出所:電話局の写真館 10
1950年当時 出所:世田谷デジタルミュージアム

©2022 Cocobridge

NTT世田谷周辺の今



©2022 Cocobridge

11

参加者から多数の質問・意見があった。VoLTEはパケット通信か、運営体制が下請任せでないか、回線切替えは3人が監視している、ルーター等の日本技術がない、米国には洞道はない、洞道の活用方法のアイデア、ローミング時の回線容量確保、メタルケーブル・公衆電話ボックス・マイクロ基地局の現状、ソフトバグは残る、IOWNに期待、未使用テレカは高額で取引できる、横須賀通研のテレカ、地震対策が必要、SNSは災害に強い、通信トラヒック規制、海底線布設船で海上から通信確保、飛行機で通信確保、アマチュア無線、ドローン、宅内残置方式、などなど。このように、予定の20時30分を1時間くらい越えるまで密度の濃い熱い意見交換があり、真にウェブサロンの雰囲気であった。



編集後記(編集者から一言)

皆様のご協力をいただき、おかげさまで会報第 105 号を発行することができました。今回は当会の鈴木顧問から「ウイルスの話」の特別寄稿をいただくとともに、海外グラフィティ、スペインバスク地方・フランス南西部俳柳紀行のご寄稿を継続いただき、誠にありがとうございます。最後者については最終回を迎えましたが、新たな紀行文のご寄稿をいただけるとのことであり、お礼するとともに楽しみにしております。

これまでのご協力を改めて心より感謝するとともに、当会及び当会報へのご感想、ご意見などございましたら、下記サイトにご記入いただければ幸いです。皆様からのさらなる会報へのご寄稿と ICT 海外情報ウェブサロンへのご参加をお願いするとともに、今後とも当会へのご指導・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

<https://ictov.jimdo.com/コメント/>

発行： ICT 海外ボランティア会(ICTOV)
会報担当： 空席のため募集中(編集長兼広報部長)、山川 博久(事務局長)
ホームページ担当： 山崎 義行(報道部長)、安達 信男(幹事)